

ティーボール

ティーボールには、世界で2つの大きな流れがあります。1つはオーストラリアとニュージーランド、他の1つはアメリカの流れです。

わが国においては、1993年「日本ティーボール協会」が発足しました。アメリカやオーストラリアのティーボールを参考に、小学校のみならず、女性や中高年者をも対象としたルールを作り、ニュースポーツとしてスタートしました。

ティーボールは、野球やソフトボールに類似したゲームですが、大きく異なる点は、投手がないことです。つまり、本塁プレート後方に置いたバッティングティーにボールをのせ、打者はその静止したボールを打つため、誰でも〈打つ〉喜びを味わうことができ、また打ったボールはひんぱんに内・外野に飛び、ボールの捕球や送球の機会も多く、ゲームの楽しみは倍增することになります。

1試合は20～30分で終わるので、小・中学校の正課体育や中高年者のレクリエーションスポーツとして最適です。（どのポジションも運動量が均等化している）

用具

☆バット・ボール

ポリウレタンを使用しているので柔らかく安全である。

☆グラブ・ミット

すべてのプレイヤーが使用できる。ただし、ゴム中空やインドアの柔らかいティーボールを使用するときは、素手でプレイすることが望ましい。

〈表1〉使用球と競技場

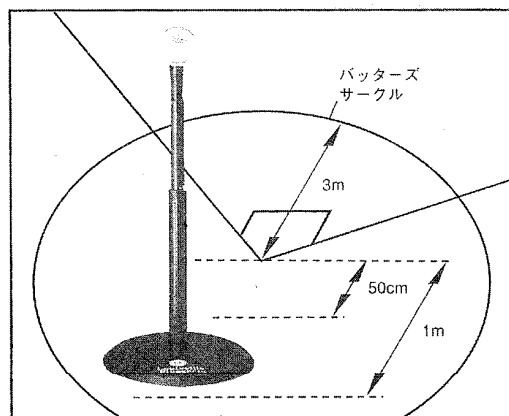
使用球	塁間	外野フェンスまでの距離	対象
14インチ・ティーボール(ゴム)	10～12m	30m以上	幼児・小学生・中学生・高校生以上女子
9インチ・ティーボール	14m	40m以上	小学校低学年
11インチ・ティーボール 12インチ・ティーボール	14m	40m以上	小学生・中学生・高校生以上女子
14インチ・ティーボール	16m	50m以上	一般(中学生以上)
12インチ・ティーボール	18.29m	55m以上	一般(中学生以上)

インドアティーボール(室内ティーボール)

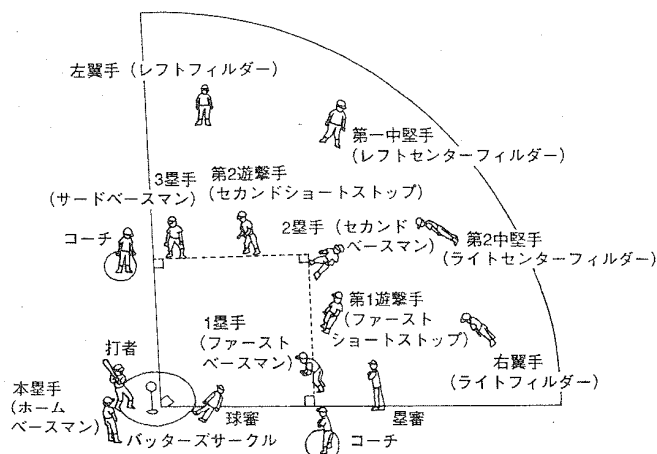
使用球	塁間	外野フェンスまでの距離	対象
14インチ・ティーボール	10～12m	30m以上	幼児・小学生・中学生・高校生以上女子
12インチ・ティーボール	10～12m	30m以上	

競技場

☆バッターズサークルとバッティングティー



〈図1〉プレイヤー名称と守備位置



	
運 動 量	★ ★ ★
技 能	★ ★ ★
準 備	★ ★ ★

ルール（進め方）

【ゲームの進め方】

- ① 試合は原則として次の2通りの方法で行うものとする。
ア. 2チームが攻撃と守備に分かれ、攻撃側チームの全打者が打撃を完了した時点で攻守を交代し、規定の回数を終えたときの得点の多いチームを勝者とする。残塁の走者は次回に引き継ぐものとする（この方法は幼児および小学校低学年の児童に望ましい）。
イ. 2チームが攻撃と守備に分かれ、3回のアウトによって攻守を交代し、規定の回数を終えたときの得点の多いチームを勝者とする。
- ② 規定の回数（イニング）は、正式試合の場合、上記「ア」は3～5回とし、「イ」は5～7回とする。
- ③ フェアとファウルは、野球やソフトボールと同じである。ただし、バッターズサークル内で、野手がボールに触れたり、またボールが止まった場合はファウルとする（フェア地域内のライン上で止まったときはフェアである）。
- ④ 走者がその回が終了するまでに、一塁→二塁→三塁→本塁の順で各塁に触れた場合、得点（1点）となる。

【ルール】

- ① 審判による「プレイボール」の合図の後、打者はバッティングティーにのっているボールを打つ。バッティングティーにボールをのせるのは、原則として打者、あるいは本塁手が審判が行う。
- ② 打撃時の打者の軸足の移動は1歩までとする。2歩以上動かした場合は反則となり「ワンストライク」に数えられる。「ツーストライク」後にこの反則を犯した場合には、その打者は三振となる。

- ③ 打者がバッティングティーを打った場合は空振りあるいはファウルとなり、「ワンストライク」に数えられる。「ツーストライク」後にこれを行った場合は、その打者は三振となる。
- ④ 「ツーストライク」後にファウルした場合、その打者はアウトとなる。
- ⑤ バントあるいはチョップヒットは認められず、行くと「ワンストライク」となり「ツーストライク」後に行くと打者はアウトとなる。
- ⑥ 走者は打者が打った後、塁を離れることができる。打者が打つ前に離塁した場合、走者はアウトとなる。また盗塁は認められない。
- ⑦ スライディングは禁止（行った場合はアウト）。そのため、一塁、二塁、三塁での駆け抜けは認められる（走者は塁ベースを駆け抜けた後に野手にタッチされてもアウトにはならない）。

【審判の方法】

- ① 審判員は、球審と塁審の2人とする。
- ② 球審は、打者の正面横に立ち、本塁および三塁周辺のプレイをジャッジする。
- ③ 塁審は、一塁手の後方、一塁のファウルラインをまたいで立ち、一塁および二塁周辺のプレイをジャッジする。
- ④ 球審と塁審は、打者・走者の進塁が一段落し、ボールが内野手が本塁手にもどったと判断したら「タイム」をかけ、次のプレイに移るように指示する。